

「道内の感染状況等について（道案）」に対する主な意見

1 有識者・専門家等の意見

1-①

異論なし。施設においては、クラスター発生時に入院ができない状況が続いている。家族による職員の感染が止められない。

職員・入居者のワクチン接種が終了するまで、今一度、厳しい措置の継続が必要。ここが、次のステージへのステップなので頑張ってください。

1-②

現在、多くの飲食店は指導に従って営業時間を限定したり、休店したりしているが、指導に従わない飲食店には行かないように呼びかけてはどうか。

ワクチン接種を、北海道ワクチン接種センターのみならず、札幌市以外の全道で円滑に進めることができるように、きめ細やかに情報を収集し支援などの対応をしてほしい。接種人数が少なくても、それであれば警察官や自衛官や消防士や道民の安全を担っている業種への接種について、対応を進めていただきたい。

札幌市の感染状況で、リンクなしの割合が上昇しているが、入院患者の情報を見る限り、十分な聞き取りができていないことが原因とも考えられる。

1-③

緊急事態宣言下にあっても一部の地域では前回宣言時と比較して人流が増加するなど住民の行動抑制にも限界が見られることから、基本的な感染対策は維持しつつ、5月に発生が顕著であった医療・福祉施設や事業所、学校などでの集団感染対策として、ワクチンの職域接種を支援するとともに定期的なPCR検査等による感染者の早期発見と集団感染の未然防止に取り組むことも検討すべきと考える。

今後の感染対策において重要な役割を担うワクチン接種に関し、特に10代への接種に対する理解が不十分なことから、実施主体となる市町村に対して苦情が寄せられるなど対応に苦慮している事例が見られる。

今後、ワクチン接種を着実に進めていくためには、その有効性や安全性はもとより、先月、国において対象年齢を16歳から12歳以上に引き下げたことなども含めて、十分な理解が得られるよう、国はもとより道においても適切な情報発信に務めて頂きたい。

1-④

今後の対応については賛成

1-⑤

新規陽性者数は引き続き減少傾向にあり、これは道民ならびに関係者の努力によるもの。

一方で、医療提供体制に関しては、引き続き厳しい状況が続いており、その点を十分に伝えていかないと、既に人出が戻ってきている状況下に

において、今後、緊急事態宣言の解除、五輪に向けた準備等で、人々の接触が増加することが懸念される。

また、インド株への引き続きの監視体制が重要であると考えます。

ワクチン接種が進んでおり、大変ありがたいが、ワクチンを打ったから大丈夫ではないことをしっかり伝え、引き続き基本的な感染予防を呼びかけていただきたい。

1-⑥

北海道の感染者数は減少傾向にあるが札幌市は依然高い状況であり、6月21日以降もまん延防止等重点措置の適用が必要と思われる。

ワクチン接種のスピードを上げるべきと考えます。

1-⑦

入院者数がいまだに高く、ワクチンの円滑な接種や、医療機関の負担を減らすためにも、現在の外出自粛や飲食店等への対策を継続すべきと考えます。

2 市町村・関係団体の意見

2-①

6月21日以降については、札幌市での措置を継続する方向で対応し、対策の実効性を高めるよう取り組むことが必要。

ワクチン接種については、ワクチンの今後の入荷日程を速やかに周知していただきたい。